

山行報告書

報告書作成

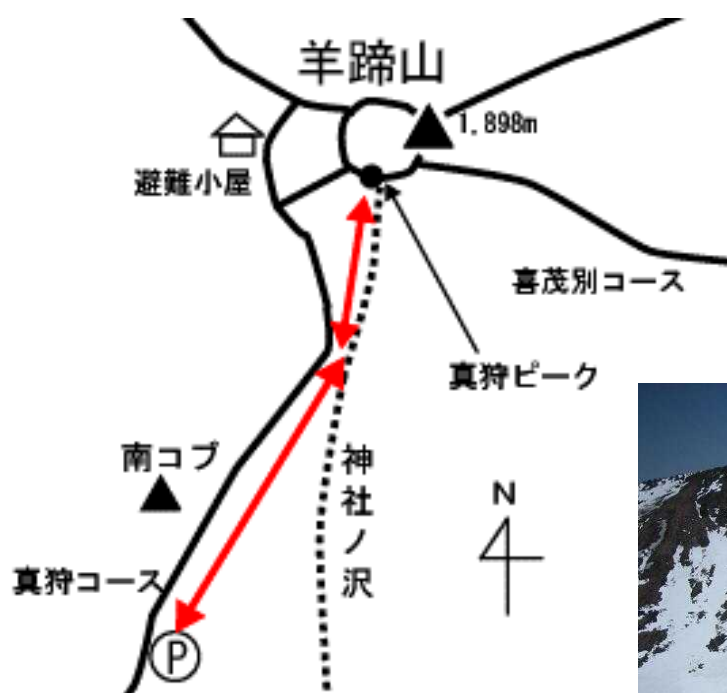
2009年5月12日

山名 [山域]	羊蹄山 [北海道]	目的と方法	山スキー
登山期間	2009年5月4日(月)	山行形態	ピストン
参加人数	1人		

行動記録

ニセコ高原YH(5:45)==真狩登山口(6:00,6:30)--南コブ分岐(7:15)--神社の沢へ合流(9:00)--スキー板デポ地点(11:30,11:50)--**真狩ピーク**(12:30,13:00)--スキー板デポ地点(13:15,13:40)--真狩コース夏道へ合流(14:00)--南コブ分岐(14:35)--真狩登山口(15:05,15:30)--ニセコ駅前「綺麗な湯」(15:45)

概念図



神社の沢



羊蹄山頂方面



日誌

GWを利用して北海道で山スキーを楽しむのが今回の目的だ。事前に送っておいたスキー板をニセコのYHで受け取り、羊蹄山へ向かう。後で気が付いたが、ニセコにはYHが多く、登山口近くの真狩村にも温泉付きのYHがある。

登山口には他に3パーティが入っていた。最初は積雪が少なく、樹林がうるさいので板を担いで登る。2合目から少し進んだ南コブ探索コースとの分岐からシールを付け、スキー板を履く。天気も良く、汗だけで小さな尾根を乗っ越すと神社の沢へ出る。傾斜はあるが、雪が腐り始めているので滑落の危険はない。そのまま沢を直登して進む。1,700m程度から傾斜がきつい。尾根に入り込み板をデポし、つぼ足で登る。1時間もせず羊蹄山のお鉢に辿り着く。山頂までは岩場が多く、時間も限られているので今回は諦める。昼食を取っていると京極コースの方から登山客が現れお鉢の中へ滑走していった。羨ましく眺めていたが、登り返しが200m以上あるので大変だろうと思った。

スキー板を回収し、標高差1,000m以上の大滑走となる。雪が重いゲレンデは広く滑りやすい。沢と尾根の差がはっきりしておらず、喜茂別コースよりの墓地の沢へ入り込んでしまう危険がある。進路を右寄りに取り、神社の沢を忠実に滑走する。夏道へ戻ると樹林が多くなり、2合目より下はとても滑り難い。行きと同じく最後は板を担ぐ。天気が良く展望が最高！終始楽しい山スキーであり、満足だった。